

令和7年度 北海道函館商業高等学校 学校評価（全日制課程・定時制課程）

自己評価		(4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分)								学校関係者評価	
分野・領域	評価項目	達成度								今年度の実施内容と反省	自己評価に対するご意見
		※《上段》人数→左:全日制 右:定時制				《下段》平均値→左:全日制 右:定時制					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
学習指導	わかる授業の実践と学力向上	2	0	25	9	2	0	0	0	《全日制》 ・授業規律、まずは教師が授業時間を守るなど、生徒が1時間ごとに集中できる環境づくりをすべきだと思う。教師がお互いに授業を見合ったり、第3者の目が常にある、ということを生徒が意識できるような仕組みを作ることも必要。 《定時制》 ・生徒個々の習熟状況に鑑み授業を展開し、観点別の評価によって生徒個々が克服すべき課題を意識できるようになった。	《全日制》 ・先生は先生で、生徒は生徒です。教えること、教わることは何かを教える。 ・学習環境整備の観点からも改善すべきである。社会のルール。 ・具体的に個々の評価をして、課題の確認は実行に結びつくと思います。 《定時制》 ・家庭学習の習慣化は大事なことで、先生方の取組方法は素晴らしいと思います。補習等は今後も続けて欲しい。 ・進級するにつれ、学習に対する意欲や目標が高まっていると感じています。 《全定共通》 ・授業は教員としての命綱である。常に工夫・改善に努め、教材研究や授業公開を積極的に推進して頂きたい。
	家庭学習の習慣化	1	2	15	2	11	4	2	1	《全日制》 ・進路意識や向上心の高い生徒を増やすことが概ねうまくいっておらず、自ら学ぶ習慣を身につけた生徒が少ない。 《定時制》 ・家庭学習を習慣化させるために適宜課題を出したり、放課後に補習を行いながら、勉強方法を教えた結果、少しずつではあるが、取り組む生徒が増えてきている。	
生徒指導	望ましい人間関係の育成	0	2	20	5	8	2	1	0	《全日制》 ・生徒の状況を把握し、タイムリーな声かけを行うことで、良好な人間関係を築いている。今後は、挨拶を恒常的に行える環境作り、声かけを行い、生徒個々の意識を変えていく。 《定時制》 ・人権や生命を尊重する態度の育成を行ったが、望ましい人間関係の形成につながる学習機会をさらに設ける必要がある。	《全日制》 ・基本中の基本です。習慣づけが大事です。 ・生徒指導で一番大切なことは、統一した指導観が図られることだと考える。情報交換が十分になされ、部内だけの話し合いに終始することなく、学年会や教科会議等、多角度からの情報収集をすることにより、効果的な指導体系が生まれてくるはずである。 ・「人による」とは、生徒なのか教員なのかわかりません。 《定時制》 ・共通認識を深めてご指導ください。 ・尚、継続することで、浸透を図ってください。 ・とても難しい部分ですが、上手く指導できていると感じています。信頼関係は、簡単に壊れるので、先生方も大変でしょうか注意を払ってほしいです。 ・家庭内では、社会性が狭く感じているので、学校やアルバイト等、課外活動で他の社会人と関わることは大事だと思います。また、個人の意識や捉え方等、成長に大切な刺激だと思います。 《全定共通》 ・保護者・地域・関係機関との連携を密にすることにより、危機管理体制の強化が図られることを理解して欲しい。 ・道德の時間はあります。
	生徒との信頼関係の確立	2	4	23	5	4	0	0	0	《全日制》 ・生徒がいつどんな時も助けを求められるような関係をつくるべく日々接することができているかは、人による。 《定時制》 ・生徒理解を基盤とした指導を行い、教育相談交流会等の研修会を通して教職員の共通認識を深めてきた。今後は、研修をより効果的なものとし、指導の向上につなげていきたい。	
	保護者等との適切な連携	2	2	22	7	5	0	0	0	《全日制》 ・概ね良好と思うが、ほんの僅かなことで信頼関係が崩れることがあるので日頃から教員の方で自己チェックをしておいた方がよい。PTA活動に積極的に参加することも大切である。 《定時制》 ・担任が保護者との情報共有の中で必要と判断したものについて、適宜情報提供をいただき、丁寧に対応することができた。	
進路指導	キャリア教育の充実	4	2	18	7	6	0	1	0	《全日制》 ・1年生の段階から出口を意識した指導を心がけ、地域が求める人材の育成に務める。 《定時制》 ・進路学習やインターンシップを通じて勤労観や職業感を意識させることができた。また、授業内でも仕事について触れ現実社会とのギャップを埋められるよう努力することができた。	《全日制》 ・出口の決定率が学校評価と直結している。進路実績を広く公表することにより、新たな志願者増にも繋がることを意識して欲しい。 ・社会の仕組みや勤務の意味等、進路選択を主体的に考える対策が必要。 インターンシップで体験したことを発表させていると思いますが、理解不足がある場合は、解決誘導を願います。
	多様な体験活動の実施と進路意識の明確化	6	3	15	6	8	0	0	0	《全日制》 ・インターンシップや流びのハコショップ以外でも多様な活動があるべきではないでしょうか。実際、インターンシップ（社会との接触）が生徒に与える影響は大きいようです。 《定時制》 ・インターンシップや課題研究での企業訪問、資格取得後の未来を想像させることで進路意識の明確化を図ることが少しずつできるようになってきた。	《定時制》 ・進路指導は、細かく丁寧にされていると思います。インターンシップの実習先が増えるといいですね。 ・継続して実施させて欲しいです。 《全定共通》 ・インターンシップの成果も大変効果的な事業としてとして位置づけられていると感じる。 ・生徒の実態を把握する各種調査・面談・進路状況の提供、検定試験結果の検討等、よりきめ細やかな系統化された進路指導に期待している。 ・今の子供たちは将来のことを簡単に考えている。先生は見本です。生徒は先生を見ています。
	保護者等との適切な連携	4	2	20	6	4	1	1	0	《全日制》 ・進路決定を行う際に家庭との連携は必須である。保護者と協力をしながら、生徒にとってよりよい進路実現に向けてのサポートを心がける。 《定時制》 ・面談を通じて進路に対する保護者の意向を確認できた。 ・全保護者と懇談を行い、進路指導に関する意見交換や生徒の卒業後についての方向性等を確認できた。	
健康安全指導	教育相談体制の充実	8	4	18	5	3	0	0	0	《全日制》 ・教育相談を実施している成果があまり見受けられない。効果的なタイミングと継続指導を学校全体で行う必要がある。 《定時制》 ・スクールカウンセラーや生徒指導部主導の教育相談をはじめ、生徒の情報共有の基盤が確立している。その他にも日常的な相談体制がしっかりできている。 ・職員室での職員との些細な対話から生徒の現状を把握しながら、生徒に寄り添った対応をすることができた。	《全日制》 ・どのように教育相談をしているのでしょうか。欠席・遅刻等は親が知っているのでしょうか。 ・学校から親（保護者）への発信は親が知っているのでしょうか。 ・評価が（成果が見受けられない）良くない場合は、即効果的な内容を求めるべき。寄り添った対応が求められます。 ・社会では常に自己管理は重要で、出来る出来ないは大きな差が出ます。 《定時制》 ・自己管理能力の育成に力を入れてもらいたい。 ・今後も生徒の機微を捉え、時としては寄り添うことも大切かと思えます。 《全定共通》 ・安全に対する危機管理意識が大切である。 ・生命尊重に関する啓発活動や夜間通学での危機管理を醸成することも重要である。
	自己管理能力の育成	0	1	21	4	7	4	1	0	《全日制》 ・元々欠席・遅刻傾向がある一部の生徒に対して、更なる指導が必要だと実感している。当事者生徒と関わりのある教員および家庭と連携し、生活習慣改善に繋げさせたい。 《定時制》 ・自分から悩みを相談したり助けを求めたりすることができず気持ちが沈んでしまっている生徒の様子が見受けられるので一人で抱え込まないようにすることを指導する必要がある。	
	安全教育の充実	4	5	19	4	6	0	0	0	《全日制》 ・SNSの利用についてなど、マナーやモラルなど様々な角度から生徒に細かく伝えていく必要があると感じている。 《定時制》 ・随時、交通情報や不審者情報等を生徒に知らせ、注意喚起を行っているが、生徒の自己管理能力育成につながっているかははっきりしない。	

自己評価 (4:十分 3:おおむね良い 2:やや不十分 1:不十分)										学校関係者評価	
分野・領域	評価項目	達成度								今年度の実施内容と反省	自己評価に対するご意見
		※《上段》人数→左:全日制				右:定時制					
		《下段》平均値→左:全日制				右:定時制					
		4	3	2	1	4	3	2	1		
信頼される学校づくり	特色ある教育活動の推進	5	4	17	5	6	0	1	0	《全日制》 ・1級取得を「強制」ではなく「選択制」にし、希望者には手厚い支援を行う。進路や将来像に応じた資格目標の多様化を図る。補習の在り方を見直し、生徒の負担感を軽減する。会計科の魅力、資格以外(実務体験・進路実績等)でも発信する。また、資格取得を最優先とする指導方針により、部活動を理由に補習を回避することができない状況が生じている。これは教育の多様性を損ない、生徒の主体性を否定する指導となっているのではないか。 《定時制》 ・商業教育を中心として、地域の諸機関と連携しながら生徒個々のスキルを高める教育活動ができた。 ・新たな地域社会とのつながりを持ち、幅広く教育活動を行うことができた。	《全日制》 ・会計科を希望しなくても入学する生徒には厳しいと思います。選択制も必要かもしれません。 ・先生間のコミュニケーションが取れていますか。 ・生徒に今何が必要かを先生同僚で話し合う。 ・先生の5分スピーチ等を行い、発言力の大切さや責任の大きさを身につける。 ・全ての先生(管理職も含む)に連絡を取れる様なまた、何をしているかを伝える。 ・教えることは覚えることにも繋がり、対話の中に発展性が見い出せます。 ・HPの更新と学校の魅力発信。 ・今迄このような反省文は初めてです。今一度立ち止まり、見直す時と思います。
	地域人材や教育力の活用	2	5	17	4	9	0	1	0	《全日制》 ・学校として特色はあるが、生徒・教職員双方がさらに高みを目指して最大限に動いているかと問われると、疑問が残る。 《定時制》 ・地域の教育力や資源を活かし、講話・講演等の教育実践ができた。今後一層、多方面で活躍する人材と生徒をつなげていくパイプ役が必要である。	《定時制》 ・生徒の意向が尊重され、学校側の支援が手厚く感じます。 ・子供たちは、楽しそうに学校に行っているの、それだけで嬉しいです。先生方には感謝しています。 ・今までで十分ですが、学級通信を渡さないの、Web上で閲覧できると嬉しいです。 ・大変有意義な活動で、継続していただきたい。 ・定時制のHPは毎回拝見させて頂いております。とても定時制の魅力が伝わってきます。今後も継続して欲しいと思います。
	教育力の地域還元	3	3	15	4	9	2	2	0	《全日制》 ・簿記教室のような取り組みの際に、生徒も補助として入るなど、地域の方と接する機会を少しずつでも設けていけるとよいと感じた。 《定時制》 ・商業教育体験発表会などの実施において、本校の教育活動の還元をはかるとともに、さらに地域における人材の育成に努めていきたい。	《全定共通》 ・組織として教育力を高めるためにも、教員全体で目的意識を共有し、協働的な教育実践を積み重ねていきたい。 ・アップデートしてください。 ・今、高等学校に求められていることは、「真に選ばれた学校」と「地域からの存在感」作りであると考えている。 ・函館商業高校のこれまでの素晴らしい実績に、いかにプラスの付加価値を生徒に付けていけるかが重要な課題ではないだろうか。 ・信頼される学校づくりを行うためには、教職員全ての英知を集め、更なるステップアップを目指して頂きたい。
	情報発信の充実	3	5	19	2	7	2	0	0	《全日制》 ・災害や突発的な情報発信はHPやメールなどで行われているが、分掌からの定期的な情報発信がない。今後は学校生活での情報を積極的に発信する体制づくりを心がける。 《定時制》 ・教頭を中心やHPやnoteの更新やポスターやビラの配布など函館商業定時制の情報を十分に発信していると思う。	・HPの更新と学校の魅力発信。 ・今迄このような反省文は初めてです。今一度立ち止まり、見直す時と思います。
	学校評価の充実	2	3	21	6	5	0	1	0	《全日制》 ・反省会議や討論型の研修会が貧弱で、職員自身が評価しきれていない。 《定時制》 ・評価の明確化に努めた。今後も教材研究を行い、生徒が評価について振り返りを行えるような取り組みを取り入れたい。	・サービス規律の厳守については、常に教育公務員としての自覚、高い倫理観と使命感、そして一般社会との整合性が求められるのではないかと。
	適切な教育課程の管理	3	5	18	4	8	0	0	0	《全日制》 ・4学科、特色ある教育課程であるが、より教科横断的な指導ができる環境作りが必要である。各教科間が連携を図りながら、実施していく。 《定時制》 ・教育課程委員会でしっかり管理できている。 ・生徒が社会に出るにあたって求められる資質、能力の向上を目指し、適切な教育課程が展開されている。	
	サービス規律の厳守	13	7	13	2	2	0	1	0	《全日制》 ・どこで何をしているかわからない先生がいる。小さなことまで指摘する必要はないが、せめてサービス規律や何事も協力して仕事に当たるといった職業倫理は全教職員守るべき。 《定時制》 ・機会あるごとに、管理職から情報をいただいている。また、個人情報の漏洩等の問題が、全国的に問題になっており、サービス規律の確立は重要である。	
組織運営	教職員の連携強化	1	6	15	3	8	0	5	0	《全日制》 ・それぞれが個別に努力しているが、各方面の方向性が一致しておらず、十分な連携が図られているとは言えない。 ・教職員の連携が弱く、各学年・分掌がそれぞれ独立して動いているため、業務が「人任せ」になっている。組織的な連携や共通理解が不足しており、学校全体としての機能が十分に発揮されていない。 《定時制》 ・学校課題の共有化を図り、課題解決に向けた連携と行動が概ねできた。 ・それぞれの立場を尊重しつつ、立場にはこだわらない緊密な連携がとれていた。	《全日制》 ・生徒の質を高めるには、教職員の資質を高める必要があるのではないだろうか。 ・指導力の欠如なのか、再度見直し、重要課題として取り組んで頂きたい。 《定時制》 ・「先生方の仲がとていい」と子どもから聞いています。そのような学校に子どもを通わせて良かったと思っています。子どももとても明るくなりました。 《全定共通》 ・風通しの良い職場とお互いに補充し合える協働体制の確立が必要ではないか。 ・職員間のコミュニケーションを大切に、課題を共有する等、それぞれの役割が十分果たすことができる環境作りが急務ではないか。
	危機管理体制の確立	4	5	17	4	8	0	0	0	《全日制》 ・校内はもとより地域からの目にも考慮しながら一人ひとりが自覚した行動を心がける。 《定時制》 ・管理職を中心に危機管理の情報共有をはかって、安全な学校運営に努力した。 ・管理職と連携をとりながら適宜危機管理を共有し、適切に対応できた。	
教職員の資質向上	研修活動の充実	1	4	17	5	7	0	4	0	《全日制》 ・個々の研修までわからないが、全体の研修会が「講演」「講義」ばかりで、全体で行う意義が乏しすぎる。 《定時制》 ・自己の教育力の向上をめざし、その成果が学校課題に対応できるように努力していきたい。 ・学校課題や教育課題等、タイムリーで効果的な校内研修が企画され、有意義なものとなった。	《全定共通》 ・校内研修で、教員個々が抱えている身近な問題を取り上げ、計画的に行える体制作りが必要ではないか。 ・忙しい中での研修は大変と思うが、情報共有もしながら頑張りたい。
	研修成果の共有化	3	2	14	6	9	1	3	0	《全日制》 ・情報共有を行いながら、今後の指導に役立てることが必要である。そのような環境整備に努める。 《定時制》 ・学んだ研修については、校内研修や回覧等で教職員でさらに共有していきたい。 ・研修内容を回覧するなど、ほかの教員に周知できるよう心がけることができた。	
その他	働き方改革	2	3	10	5	11	1	6	0	《全日制》 ・業務量が人によって差がありすぎる。改善急務。 ・未だに部活以外21時過ぎまで残っている。講習等を考え直さないと時代錯誤では。 ・学科や分掌の特性もある中で、負担を平準化できるよう心がけたが、結局のところ偏りがあった。 《定時制》 ・休業中の年休や割り振り等の措置等、管理職からの声かけ等、休む時は休める環境がある。 ・業務の見直しや方法について、今後も改善点を模索していく必要がある。	《全日制》 ・生徒への講習等の過度は良くない。 ・残業している教員ばかりかと思えます。帰宅しても家に持ち帰り仕事をしている教員も多いのではないかと。 ・検討をして、抜本的な対策が必要だと思います。 《定時制》 ・真摯に対応されており、今後も前向きな行動をお願いします。 《全定共通》 ・まず第一に、教職員の意識改革が必要ではないか。 ・先生方も人間なので、無理をしないような働き方をしてください。